

平成23年2月秋田市議会定例会代表質問者順序

秋 水 会 小 原 讓

市 民 ク ラ ブ 相 原 政 志

フ ォ ー ラ ム 2 1 芦 田 晃 敏

公 明 党 近 江 喜 博

社 会 ・ 市 民 連 合 猪 股 竹 作

1 県都『あきた』成長プランについて

(1) 将来都市像について

(2) 成長プランの戦略とこれまでの総合計画との違いについて

(3) 地域活性化に向けた取り組みについて

ア 福祉・医療・介護・子育て支援サービスにおける規制緩和の促進
と監視体制の強化について

イ 外国人観光客に向けた観光戦略について

ウ スポーツビジネス戦略について

(4) 平成23年度成長戦略事業と総事業費について

2 平成23年度予算と今後の本市財政について

(1) 平成23年度予算の特徴について

(2) ゼロ予算事業の積極的な推進について

3 第6次秋田市総合都市計画について

(1) 第5次秋田市総合都市計画からの変更点について

(2) 第6次秋田市総合都市計画の進め方について

(3) 地域別構想における目指すべき地域の姿について

(4) 多様な主体の協働によるまちづくりの推進について

(5) 進捗管理と評価について

4 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化について

(1) 大学・短大教育の現状と今後の見通しについて

(2) 美短が抱えている課題とその対応について

(3) 市の財政状況と4年制大学化後の経営について

(4) まちづくりや経済への影響について

(5) 県内外の大学や企業等との連携・協力及び地域・社会貢献機能につ
いて

- (6) 「あきた。美術・工芸展」の開催について
- (7) 大学運営における有識者との連携について

5 職員の不祥事と人事管理について

- (1) 介護認定問題について
 - ア 問題発生背景について
 - イ 不適正な認定の対象者への対応について
 - ウ 介護サービス料の差額について
 - エ 再発防止の対策について
 - オ 問題に対する責任について
- (2) 人事管理について
 - ア 人事評価について
 - イ 公務員の法律上の義務について
 - ウ 職員に対する市長のメッセージについて

6 秋田市農林水産業・農村振興基本計画について

- (1) 見直しの方針について
- (2) 本市農業の持続的な発展への取り組みについて
- (3) 営農指導スタッフと推進員の確保と充実について

7 フォンテA K I T A等民間商業ビル等への支援について

- (1) フォンテA K I T Aに入居する公共施設について
 - ア 市の公共施設について
 - イ 県施設入居の状況について
- (2) 他の民間商業ビル等への支援について

8 ごみ減量に向けた取り組みについて

- (1) ごみの減量目標の設定と考え方について
- (2) 市民のごみ減量に対する意識啓発について
- (3) 家庭系ごみの有料化の実施時期について

(4) 市民からの提言の活用について

9 秋田市民憲章の積極的な推進について

(1) 市民憲章に対する認識について

(2) 市民憲章の推進と所管部局について

(3) 市民憲章を推進するための具体策について

(4) 平成の合併時の市民憲章の取り扱いと協議内容について

(5) 市民憲章運動の全市的拡大に向けた今後の対応について

10 学校づくりについて

(1) 小中一貫した教育の取り組みについて

ア 本市の現状とその認識について

イ 今後の取り組みについて

1 市長の政治姿勢について

- (1) 本市を取り巻く状況と課題をどう認識しているのか、また、平成23年度当初予算に成長戦略をどう反映したのか
- (2) 市長マニフェストについて
 - ア マニフェストに対する市長の考え方について
 - イ 政策実現に向けた議会への対応について
- (3) 今後の都市内地域分権の進め方について
- (4) 職員採用制度の見直しについて

2 財政について

- (1) 平成22年度決算見込みについて
- (2) 今後の地方交付税の見通しについて

3 入札制度について

- (1) 入札制度の見直しについて
- (2) 地元業者の育成について
 - ア 業者育成の観点からの入札制度について
 - イ 新庁舎建設における地元業者の活用について
- (3) 公契約条例制定に対する市長の考え方について

4 農業問題について

- (1) 本市農業のあり方について
- (2) 野菜の供給拡大に向けたこれまでの取り組みと今後の課題及び対策について

5 高齢者福祉について

- (1) 介護保険制度について
 - ア 介護保険制度のこれまでの経過に対する評価と今後のあるべき姿

について

イ 次期介護保険事業計画における保険料の見込みと上昇緩和について

(2) 在宅介護について

ア 在宅サービス、居住系サービス及び施設サービスの利用割合はどうか、また、その状況をどのように考えているのか

イ 在宅介護をしている家族に対する新たな支援策について

6 保育行政について

(1) 待機児童解消対策の内容及び解消の見込みについて

(2) 将来的な児童数減少を考慮しているのか、また、保育所の将来的な安定経営のための支援策も必要ではないか

7 スポーツ行政について

(1) 中学校の部活動について

ア 指導者の確保について

イ 学校外で指導を受けている選手の指導者との連携について

ウ 部活動による学区外就学の規制緩和について

(2) 秋田商業高等学校の部活動について

ア 設置者の権限を発揮した指導者の教員採用について

(3) 平成23年度北東北インターハイの取り組み状況について

1 地域主権改革について

- (1) 地域主権改革への期待について
- (2) 本市への権限移譲の状況と今後の見通しについて

2 議会制度について

- (1) 二元代表制における長と議会のあり方に対する見解について
- (2) 本市における長と議会の状況に対する認識について

3 財政について

- (1) 地方交付税について
 - ア 平成23年度当初予算において地方交付税が大幅に増加している理由について
 - イ 平成23年度当初予算において臨時財政対策債が減少となった理由と、臨時財政対策債に対する見解について
 - ウ 特別交付税の見直しの内容について
- (2) 秋田市総合計画と予算との連動について
 - ア 秋田市総合計画と財政の推計との調整について
 - イ 大規模事業の概要について

4 行政改革について

- (1) コスト意識について
 - ア 職員にコスト意識を持たせる手法について
 - イ 行政コスト計算のマニュアル化について

5 中通一丁目地区市街地再開発事業について

- (1) (仮称) 秋田市にぎわい交流館の運営方法について
- (2) 駐車場の運営方法について
- (3) 商業施設のテナント入居等の状況について

6 家庭系ごみの減量について

- (1) 今後の家庭系ごみの有料化の道筋について
- (2) 秋田市一般廃棄物処理基本計画に定める、ごみ減量目標10%の実現見通しと、さらなる減量目標について
- (3) ごみ分別数と減量化について
- (4) コンポストにかわる生ごみの肥料化対策について

7 農業について

- (1) 本市農業の将来展望について
- (2) 本市農業の強化策について

8 雇用について

- (1) 人口が減少し、企業群が薄い本県・本市における雇用創出策について
- (2) 本市における職員採用数の現状に対する認識と今後の見通しについて

9 教育行政について

- (1) 少子化の進行における適正な学校規模について
- (2) 学校給食費の未納問題における本市の状況と今後の対応策について
- (3) 中学校の部活動について
 - ア 部活動を指導する教員の多忙化等の改善について
 - イ 部活動を指導する教員の評価について

1 市長の市政運営について

- (1) 行政及び政治不信に対する市長の見解と市長自身の政治信条について
- (2) 国の平成23年度予算と予算関連法案の成立が難航している現状に対する見解及び本市への影響について
- (3) 子ども手当について
 - ア 子ども手当に関する法案が成立しなかった場合、本市への影響はどうか
 - イ 子ども手当の財源負担に対する見解について
- (4) 基準財政需要額について
 - ア 基準財政需要額に対する見解について
 - イ 本市の基準財政需要額及び実質的な地方交付税総額について
- (5) 農業政策について
 - ア 市長が目指す農業について
 - イ TPPに参加した場合の本市へのメリットとデメリット及び本市の対応について
 - ウ 6次産業化を推進するための本市独自の振興策について

2 地方分権改革について

- (1) 広域連合に対する市長の考えについて
- (2) 広域主権の考え方について
- (3) 新潟州構想及び道州制の考え方について
- (4) 知事ネットワークに対する見解について
- (5) 地方分権に対する考え方とその対応及び行動について
- (6) 二元代表制及び議会のあり方に対する認識について
- (7) 市民分権について
- (8) 自治体クラウドの推進について

3 県都『あきた』成長プランについて

- (1) 本プランについて、危機意識が感じられないが、市長の見解はどうか
- (2) 家族の形が激変している中で、基本理念の「ともにづくり ともに生きる 人・まち・くらし」を具体的にどのように実現するのか
- (3) 成長戦略の柱としての人材育成について
- (4) 地域社会における人と人とのつながりの希薄化を解消していく具体的な手だてについて
- (5) 都市戦略としての明確な都市像及び目標について
 - ア 都市の個性をどのように構築するのか
 - イ 都市の顔をどのように考えているのか
 - ウ アンテナショップ構想について
- (6) 経済戦略については、市民が希望を持てるプログラムになっているのか
- (7) ブランドあきたの具体的提案について
- (8) 地域産業の競争力強化の具体的な戦略について
- (9) 観光あきた維新について
 - ア 新幹線が青森まで開通したことによる本市への影響及び波及効果はどうか、また、その対応をどのように行ってきたのか、さらに、今後の対応はどうか
 - イ 東北で陸の孤島化した本市の現状をどうとらえ、どのような打開策を講じるのか
 - ウ 格安航空会社の誘致について
- (10) 環境立市あきたについて
 - ア スマートシティ・プロジェクトの推進について
 - イ 家庭系ごみの有料化実施に向けた市長の本意について
- (11) エイジフレンドリーシティの実現について
 - ア 秋田モデルを構築するための市長の決意及び具体的な構想について

4 機構改正について

(1) 機構改正を行う理由及び目的について

(2) 企画調整部と財政部の統合理由について

(3) 子ども未来部の新設について

ア 子ども未来部の新設に伴い、子ども・子育て支援関連施策の何が変わるのか

イ 保護者や児童等にとってメリットは何か

ウ 子ども・子育て支援関連施策の現状及び課題をどのように考え、本市次世代育成支援行動計画にどのように反映していくのか

5 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化について

(1) 4年制大学化ありきで推進していると感じるが、市民感情をどうとらえているのか

(2) 4年制大学化に伴う費用について、市民の理解が得られると考えているのか

(3) 4年制大学化ではなく、専門学校にする考えはないのか

(4) 本市の活性化や地場産業に対する美短の貢献度と市民負担に対する費用対効果の試算について

6 秋田の未来像について

(1) 人口減少、少子高齢化、財政難の社会・経済状況の中で、どのように秋田の未来像を提示するのか

(2) 本市の人口減少の未来図をどのように考えているのか、また、その対策はどうか

(3) 若者の定住対策及び職場の確保について

(4) 団塊ジュニア対策及び対応について

(5) 買い物難民の対策について

(6) 中心市街地活性化対策について

ア 地域商店街活性化法の施行及び株式会社全国商店街支援センターの活用について

イ 地域コミュニティの担い手対策について

(7) 本市の行政及び公共サービスのあり方に対する見解について

(8) 生活保護受給者の急増と就労及び生活支援策について

(9) 国民健康保険制度改革について

(10) 高齢化社会への対応について

ア 新たな互助・共助の担い手及び労働者として、高齢者が地域で活躍できる施策を講じるべきではないか

イ 介護認定審査会を経ないで介護認定した問題について

7 新しい「有縁社会」の構築及び市民のきずなづくりについて

(1) 新しい「有縁社会」の構築と市民のきずなづくり及び地域ネットワークをどのように築くのか

(2) 公助依存意識の改革について

1 介護保険事業における要介護度の認定問題について

- (1) 不祥事が起きた原因について
- (2) チェック機能の不足について
- (3) 市長自身の責任問題について

2 平成23年度当初予算編成と借金の増加について

- (1) 国の予算について
 - ア 国税収入を上回る44兆円の国債発行に対する見解について
- (2) 秋田県の予算について
 - ア 1兆3,000億円に上る県の借金に対する不安はないのか、また、人口減少や税收減少で返済できなくなるのではないか
- (3) 本市の予算について
 - ア 国の債務残高が1,000兆円に上る中、国庫補助金等に頼らざるを得ない本市の予算編成について
 - イ 予算関連法案が国会を通らない場合、どのようなことが想定されるのか、また、どう対応していくのか

3 子ども手当について

- (1) 2年続けての地方負担に対する認識について
- (2) 本市における対象子供数と本市負担額について
- (3) 子ども手当法案が成立しない場合の対応について

4 急速な少子高齢化が進行する本市の未来と課題について

- (1) 少子化に対する現状把握について
 - ア 子供の数の推移と少子化がもたらす今後の課題について
 - イ 今後、1学年1学級の学校や複式学級を抱える学校はふえると認識しているのか
 - ウ 秋田商業高等学校及び御所野学院高等学校の定員削減を考えてい

るのか

(2) 子供を取り巻く課題について

ア 保育料と学校給食費の滞納状況、滞納理由及び対策について

イ 児童養護施設入所に至る人数、理由及び施設の現状はどうか、また、本市のかかわりはどうか

(3) 子ども未来部の新設について

ア 移管する業務と予算規模について

イ 移管しない業務について

ウ 移管しないことによる市民の利便性について

(4) 高齢化による諸課題と現状把握について

ア 高齢者人口の推移と稼働年齢層の減少による税収の減少について

イ 介護保険制度設立当初と現在における要介護認定者数、介護サービス給付費及び高齢者医療給付費の状況について

ウ 介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療保険の保険料等が払えず、医療機関等でたん全額負担しなければならない高齢者数とその対応について

エ 介護保険料の次期改定の見込額と高齢者が負担できる限度額について

オ 老人クラブの現状と課題について

カ 除雪及び買い物など外出に困っている高齢者の現状と対策について

キ 市営住宅における高齢世帯数及び高齢居住者数はどうか、また、バリアフリー化を進めるなど、高齢者に配慮した環境整備を進める考えはないのか

ク 所在不明の高齢者、孤独死、介護放棄を含む虐待の事例について

ケ 高齢者をねらった詐欺及びギャンブルで借金を抱える高齢者の実態について

コ 高齢者対策部（仮称）を設置し、総合的な対策を講ずるべきと思うかどうか

5 雇用について

- (1) 本市の高校生や大学生の市内への就職状況はどうか、また、県内及び県外への就職状況はどうか
- (2) 新規就職者の給料の把握について
- (3) 市外への就職や市内就職者の低い賃金では、さらに購買力が低下し市内経済の活性化につながらないのではないか

6 市町合併の総括等について

- (1) 旧河辺町及び旧雄和町の人口の減少度合いについて
- (2) 中通一丁目地区市街地再開発事業及び新庁舎建設事業に多額の合併特例債を充てる予定となっているが、合併により旧両町の願いはどれほどかなえられたと考えているのか
- (3) 水や緑などのキャッチフレーズを使用した新たな農林業の振興や過疎対策などはできないのか

7 議会や市民との合意形成について

- (1) 家庭系ごみ有料化問題における議会对応について
 - ア 市長は議会からの声をどのように受けとめ、判断したのか
 - イ 議会から議案提出見送りの意見があったにもかかわらず、12月定例会の議案内示日前日まで判断を延ばした理由について
- (2) 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化について
 - ア なぜ本市で4年制大学化なのか
 - イ 2月10日に秋田公立美術工芸短期大学4年制大学化検討有識者委員会からの提言書が提出されたが、市民説明も実施していない中で市民合意は得られているのか
 - ウ 平成25年4月の開学にこだわる理由について

8 中通一丁目地区市街地再開発事業の成否について

- (1) 約118億円もの公費を投入する以上、にぎわいにつながる具体的な内容を明らかにすべきではないか、また、周辺が閑散としている状況

では一点豪華主義になってしまうのではないか

(2) 駐車場の具体的な運営方法はどうか、また、運営に当たり市費の投入はあるのか